

A photograph showing a group of people sitting on the grass around a campfire. The fire is burning brightly in a metal fire pit. The people are dressed in casual outdoor attire. The background is a soft-focus green field.

健康しが活動創出支援事業費補助金 採択事業

自然資源を生かした体験型プログラム

「アウトドアダイアログ」

「アウトドアダイアログ」とは

アウトドア(キャンプや農業体験など)×ダイアログ(対話)

▶地域の自然資源を活用したアウトドアを、学びの機会として提供する体験型プログラム

【昨年度の活動】

1 コラボイベントの実施

守山市健康福祉部健康福祉政策課が実施するみちくさ学校と、長浜市で実施された立命館大学カーボンニュートラルプログラムで「アウトドアダイアログ」を導入した企画を実施。

2 インタビュー・発信活動

立命館大学びわこ・くさつキャンパスのある草津市の「健幸都市」の取組と、立命館大学でウェルビーイングについて研究をされている食マネジメント学部吉積巳貴教授への取材を行い、作成した記事はnoteにて公開した。

3 キャンプ研修・関連企画

キャンプギア研修(協力:スノーピーク)に参加。立命館大学BKC地域連携課が主催するBKCウェルカムデーでの企画、立命館守山中学校・高等学校でのオープンキャンパス(協力:ロゴスコアレーション)のキャンプ企画協力を行った。



滋賀らしい健康に向けて

【ひとの健康】

地産地消の食体験による、地域の魅力再発見

参加者から、地域の食材を使うことや一緒に調理し、食べることの重要性とそれによる健康効果を実感できたと回答があった。

コミュニケーションのきっかけと効果

非日常で開放的な場所でコミュニケーションが促進されることや、活動中に自分の役割を見つけてお互いに協力することによって、自己肯定感が高まるなど精神面で前向きな変化が見られた。

食 ▶

野菜

地産地消

ところ ▶

メンタルヘルス

【まちの健康】

若い世代の地方創生マインド育成

地域で作られた薪や地域で育てられた食材を使うなど地域の自然資源を活用することで、まちが元気になることに貢献しようとするマインドを育むことができた。

地域との連携

本事業は、地域の自治体や事業者との連携が必要不可欠であった。長浜市・守山市をフィールドとして、それぞれの地域の強みである脱炭素や子育ての視点からまちづくりに考えることができた。

つながり ▶

交流人口

関係人口

県民性 ▶

共生社会

自然環境 ▶

CO2ネットゼロ

MLGs